

こんなことが決まりました

樹木の賠償金を 新しい基金に充当

広野町公共施設等総合管理基金条例の制定を可決

広野町ではかつて町の基幹産業だった林業の政策で、先人たちが樹木を大切に育ててきました。

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響によりその木材の価値が損なわれてしまったため6億3396万円が賠償金として町に支払われることになりました。

耐用年数が迫る数多くの公共施設を長く安全に活用していくため、施設の大規模改修や更新に柔軟に対応できるように、この賠償金を財源に基金を創設する条例を可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	8億3592万円	69億3451万円
国民健康保険特別会計	1696万円	8億2552万円
土地開発事業特別会計	265万円	5億9010万円
公共下水道事業特別会計	615万円	2億1935万円
農業集落排水事業特別会計	124万円	4307万円
介護保険特別会計	4422万円	6億5745万円
後期高齢者医療特別会計	45万円	2053万円
合計	9億0759万円	92億9053万円

主な内容	
●広野町公共施設等総合管理基金費 ※新たに創設した基金への積立金	6億3396万円
●新型コロナウイルス感染症対策事業費 ※新型コロナウイルスワクチン接種5回目に係る費用	1582万円
●農業振興事業費 ※肥料高騰緊急対策補助金(質疑↓)	270万円

9月補正

今回の補正は、歳入では東京電力賠償金6億3396万円が計上され、歳出ではその賠償金を広野町公共施設等総合管理基金に積み立てるための費用などが計上され、一般会計は歳入歳出それぞれ8億3592万円と大幅に増額されました。

質疑 農業への十分な支援を

門馬巧議員

私が使用していた肥料は20から30%価格が高騰していると記憶していますが、この270万円の予算で町内全域を賄えるのでしょうか。

福島の水稲の肥料費は約16%増加しており、高騰分を県が1/3、町が2/3支援します。水稲以外の作物も同様に支援するというところで補正予算を計上しています。

今後も国、県、関係機関の動向を見極めて柔軟に対応していきたいと考えています。

環境を守り、 より良い環境をつくる

広野町環境基本条例の制定を可決

広野町の未来に貢献するため、この町に係るすべての人々が持続可能な社会の構築に向けて協働し、町の豊かな自然環境の保全及び創造を推進する条例の制定を可決しました。



質疑 国・県の協力が必要

畑中 大子議員

農業などによる環境への影響をよく耳にします。

有機農法への転換には国や県も大きく巻き込んだ取り組みが必要だと考えますがいかがですか。

猪狩産業振興課長

特別栽培米や有機栽培米の推進に取り組んでいます。

除草剤等低減に取り組んでいる農家を支援する国の交付金事業もあり、町もそれに付随して昨年度より支援をしています。

今後も環境にやさしい農業の取り組みに支援をしていきたいと考えています。

議会の最高規範 広野町議会基本条例の制定を可決

令和3年6月25日(令和3年第5回臨時会)での設置以来、調査・審査を続けてきた「広野町議会基本条例に関する調査特別委員会」から条例案が提出され、全会一致で可決しました。

詳しくはP10特別委員会報告に掲載しています。

その他の審議案件

- 議案第69号 広野町教育長の任命に関する同意を求めることについて
(根本良政氏の再任に同意 任期は10月15日から3年間 ※153号に写真を掲載)
- 報告第1号 広野町の健全化判断比率等の報告について
(地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づき報告を受けました)

第3回臨時会

物価高騰による生活困窮世帯を支援

7月19日に第3回臨時会を開きました。住民税非課税世帯に対し10万円を給付する臨時特別給付事業の、令和4年次に新たに住民税非課税世帯になった世帯や対象世帯となりうる未申告世帯を見込んだ費用の増額と、原油価格や物価の高騰による生活困窮する世帯へ影響を緩和するため1世帯につき1万円を給付する生活困窮世帯緊急補助事業にかかわる費用が計上された一般会計補正予算を可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1477万円	60億9858万円

主な内容	
●臨時特別給付金事業 (住民税非課税世帯に10万円を給付する事業)	1060万円
●生活困窮世帯緊急補助事業 (物価の高騰などにより生活に困窮する世帯への影響緩和のため1万円を給付)	4178万円

※給付対象や手続きに関するお問い合わせ先 健康福祉課 0240-27-2113

こんなことが決まりました